

電気柵と防草シートの組み合わせ防護柵の 設置方法とポイント

1 概要

- 勝央町では、中小型獣によるぶどうの食害が問題となっています。
- 中小型獣類の侵入防止には電気柵が有効ですが、最低地上高の低い電気柵の管理にはこまめな除草作業が必要です。
- 一方、導電性の低い防草シートの敷設は、電気柵の効果を下げる可能性があることから、推奨されてきませんでした。
- そこで、勝英農業普及指導センターでは、幅の狭い（50cm）防草シートを電気柵の下に設置することで、電圧の維持と抑草の両立を図りながら中小型獣類の侵入を防止できないか検討しました。

2 設置方法

① 防草シートの敷設



今回は50cm幅のシートを使用

地面との隙間ができないように張る（潜り込み防止と電圧確保）※事前に除草剤を散布

② 支柱の打ち込み



防草シートの端から約20cmの位置に支柱を設置する（支柱の設置間隔は約3m）

③ 電線の設置



地面から10、20、40cmの3段に張り、電圧降下を防ぐため、縦線でつなぐ

④ ゲートの設置



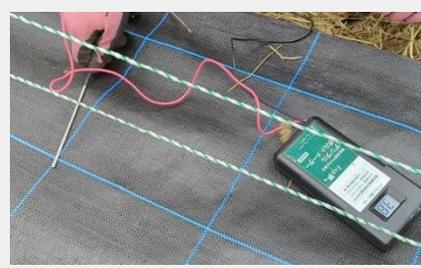
ゲートハンドルは、最下段から順番に設置すると調整が簡単

⑤ 電源の設置



太陽光を十分に受けるように、南向きに設置する
電源は常にONにする

⑥ 電圧のチェック



電圧が5,000V以上あることをテスターで確認する
※地面と電線で測る

※ 漏電を防ぐため、設置後は定期的に電圧を確認し、電線に草が接触しないよう除草してください。

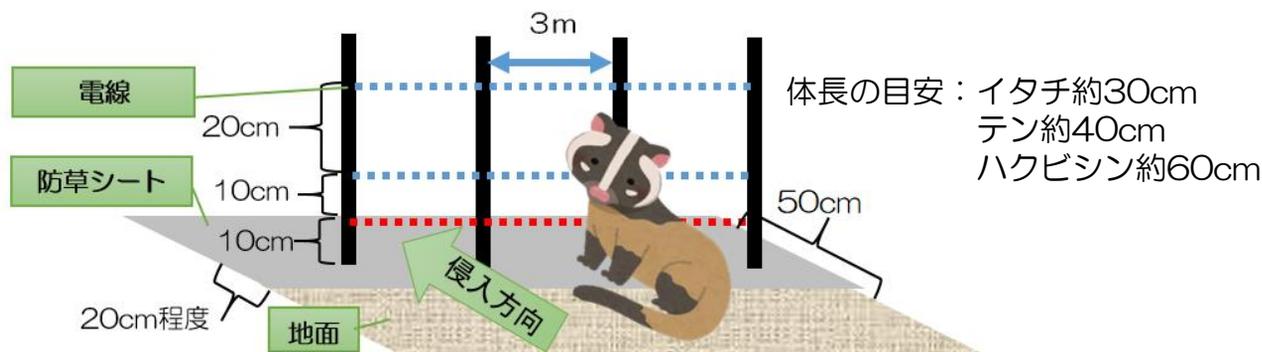
3 設置のポイント

ポイント①

- **イノシシ**対策用の電気柵として、地面から **20cm、40cm**の高さに電線を設置する
- **中小型獣**が電線に触れるよう、地面から **10cm**の高さに電線を追加する
- **シカ**の侵入防止には、**防風ネット**を活用

ポイント②

- 電気を通しにくい防草シートの上に獣が乗ると十分な電流が流れない
- 幅が狭い防草シートを使う
- 獣の後肢が地面と接触するよう、電気柵は侵入方向から20cm程度の位置に設置



4 必要資材 (20a、外周180m)

令和4年8月時点の価格 (参考)

用途	資材名	規格	単価(円)①	数量②	小計①×②(円)
電気柵	本体(電源)	ソーラー	45,980	1	45,980
	ポール	10本/セット	3,058	6	18,348
	ガイシ	50個/袋	2,750	4	11,000
	柵線	400m巻	8,228	2	16,456
	ゲートハンドル	大型	506	6	3,036
	簡易緊張具	6個/袋	968	1	968
	危険表示板	1枚	418	1	418
防草シート	防草シート	幅50cm×長さ100m	8,412	2	16,824
	黒ピンセット	100セット	3,624	4	14,496
防風ネット	防風ネット	幅2m×長さ50m (4mmメッシュ)	8,180	4	32,720
	吊り金具	100個/袋	2,629	3	7,887
資材費合計					168,133

5 結果

被害房数：9房 (前年90房) →大幅に減少

※電気柵本体の出力と防草シートの種類(厚みや織り方)との組み合わせにより、効果に差が出ないか確認する必要がある。